

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本会は昨年、新役員の下に2年目として新しい活動を立ち上げるべく準備しておりましたところ、3.11の東日本大震災が起きました。ここに改めて亡くなられた方へのお悔やみと被災者の皆様に対しお見舞いを申し上げます。すでに各種の情報から巨大地震に続く巨大津波を受け、それが二次災害として原子力発電所の事故を惹起し、さらに放射能拡散や放射能汚染水の放出など災害連鎖がいまだに続いていることはご承知の通りです。

そこで本会は急きょ医療・福祉施設の被害状況調査に対応する体制をとり、医療・福祉施設がどのような被害を受けたか、その施設が被災の中でどのような活動をしたのか、施設・設備の修復はいつごろできたのか、などの調査を次のような方法で行いました。

①初動調査を本会の課題研究として医療施設を対象に4月から6月まで行いました。

②厚生労働科学研究を受けた本会の算理事の研究に協力し、初動調査の対象範囲を拡大して行い、これには会員の皆様に調査ボランティアとしてご参加いただきました。

③厚生労働省の研究費助成へ本会が応募（主任研究者：石井敏氏）し、福祉系施設調査を行っています。これにも医療施設と同様に皆さまの多大なるご協力をいただきました。

今年はこれらの結果をもとに災害時医療・福祉に関して施設面から提言を行いたいと思います。

昨年のその他の活動としましては、研修事業として恒例の見学会をはじめ、「医療／福祉建築講座」、「医療福祉建築フォーラム」、一昨年から始めた「病院建築講座～施設整備をお考えの方に～」を開催しました。また、海外研修を実施し、25名の参加者で米国の東海岸を中心に医療・福祉施設の視察を行いました。

編集発行事業では、季刊の「医療福祉建築」、月間の「Information from JIHa」の発行などをいたしました。顕彰事業としては「医療福祉建築賞2011」の審査が、今井委員長の下に行われています。情報収集発信事業では「保健・医療・福祉施設建築情報シート集2011」や「医療・高齢者施設に関わる施設基準関連情報」などを会員の皆様に提供しました。

また、昨年は医療福祉建築に関する「東アジアシンポジウム」開催の年であり、ホスト国として東京大学の講堂にて「グリーンホスピタル」をテーマとしたシンポジウムを行い、また2班に分かれ病院視察を行いました。原発問題で日本への渡航が減少している中、中国及び韓国から総勢31名もの方々をご参加くださいました。本会会員も33名ご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。

今年は辰年です。暗雲に向かって勢いよく天を駆け上り、その先にさわやかな晴れを見たいと思います。しかし、医療・福祉の世界は今年が診療・介護報酬のダブル改定の年でもあり予断は許せません。むろん国民が国の発展を支えなければなりません、質の高い医療・福祉施設の実現が国民福祉の大きな側面を支えるということも忘れてはなりません。また、本会は医療福祉の建築に関する団体ですが、在宅を含めたトータルシステムの一環として国民中心の活動を進めたいと考えております。そのために通常の活動以外に施設のガイドラインなど、新しく要請されている今日的課題にも取り組んでいきたいと思っております。

最後に、本年も本協会の会員皆さまの一層のご活躍を祈念申し上げます。

2012年 元旦

一般社団法人 日本医療福祉建築協会
会長 河 口 豊